

2017 ひろしま避難者の会「アスチカ」会員情報のまとめとアンケート(配布用)※修正済

2017.3.11

ひろしま避難者の会「アスチカ」

【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには112世帯334名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

	世帯数(人数)	%
岩手	5 (15)	3.4
宮城	33 (64)	22.6
福島	77 (199)	52.7
その他(関東地方など)	31 (73)	19.6
計	146 (351)	

2017年2月28日

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

	世帯数(人数)	%
岩手県	1 (1)	0.9%
宮城県	10 (34)	8.9%
福島県	51 (156)	45.5%
関東地方	50 (144)	44.6%
計	112 (335)	

世帯数は昨年より減少。このうち5世帯がこの1年間の新規入会世帯。新たに避難を開始した世帯1、以前から避難していたが、入会は今年度という世帯が3、他の避難地から移動された世帯が1。アスチカ設立当初、福島県からの避難者の割合は6割。現在は関東からの避難者の割合とほぼ同じ。退会は避難元へ帰還、転勤による転出など。

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	13	11.6%
大人のみ	14	12.5%
大人+子ども世帯	85	75.9%
(うち母子世帯)	16	14.3%

大人のための世帯に出産があり、大人+子供世帯に移行するなど、大人+子供世帯が増えた。小さな子どもを連れた母子避難が避難者の象徴的な存在だが、小さかった子ども達も5年経てば中学生、高校生になる子供も増えてきた。年齢層は0歳から80代まで幅広い。それぞれの世帯構成ごとにそれぞれの困難さを抱えている。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 60世帯／112世帯(回収率 53.6%)

Q1 全国避難者登録システムに登録されていますか？

	回答数	%
登録している	39	65.0
登録していない	21	35.0

登録していない理由(複数回答あり)

	回答数	%
システムを知らない	7	33.3
登録するメリットを感じない	3	14.3
登録する対象でないと思っている	4	19.0
申請が手間	0	0.0
その他	5	23.8
無回答	2	9.5

(その他)

- ・登録後引っ越して、そのままにしまった。

Q2 住民票は異動しましたか？

	回答数	%
異動した	52	86.7
異動していない	6	10.0
無回答	2	3.3

異動した理由(複数回答あり)

	回答数	%
移住だから	33	63.5
今、住んでいる場所だから	9	17.3
避難先へ納税	1	1.9
仕事の都合	4	7.7
子どもの保育園や学校の都合	8	15.4
公営住宅入居のため	1	1.9
その他	3	5.8

(その他・補足説明)

- ・家を建てたから
- ・銀行などの手続きのため。

異動しない理由(複数回答あり)

	回答数	%
不都合がない	3	50.0
家族のつながり	3	50.0
避難元の子どもの医療費支援が充実	2	33.3
福島県県民健康調査などの健康管理の維持	1	16.7
避難元への愛着	2	33.3
復興住宅への入居意向のため	1	16.7
その他	1	16.7

(その他・補足説明)

- ・移住ではなく、避難だから。

住民票を異動する世帯の方が主流。「異動していない」が微減。

Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震による家屋の消失・損壊	7	11.7
津波による家屋の消失・損壊	3	5.0
原発事故による強制避難	3	5.0
原発事故による健康影響(含、不安)	53	88.3
仕事がなくなった	2	3.3
精神的ストレス	18	30.0
余震への不安	17	28.3
原発事故悪化への不安	37	61.7
その他	6	10.0

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、土地柄もあり、原発事故への感も高く持っていています。

しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいます。そういう方がいることも知っていたらうれしいです。

(その他・自由記入)

- ・津波後の粉塵がひどかった。
- ・放射能による将来への不安。未婚のため出産などをする場合、子への影響。
- ・仕事の都合と重なったため。
- ・東日本全体として放射能が降り続けているため。

Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震等自然災害が少ない	12	20.0
被災地から遠い	20	33.3
自然に恵まれている	7	11.7
被爆地であることへの期待	8	13.3
生活が便利	3	5.0
家族・親族がいる	32	53.3
友人・知人がいる	11	18.3
知っている避難者がいる	1	1.7
たまたま仕事が見つかった	8	13.3
以前住んだことがある	3	5.0
西の食材が手に入りやすい	15	25.0
一時避難・保養に来た縁	4	6.7
避難者への支援がある	1	1.7
その他	8	13.3

(その他・自由記入)

- ・ある程度大きな都市なので、仕事が見つけやすいのではと期待したから。
- ・出産ができなくなったため
- ・農薬、肥料を使わない農業をするため、原発事故の影響のない土地へ移住した。
- ・放射能から逃れられるから。
- ・仕事の都合。
- ・仕事が見つからなかったから。

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多め。「被災地から遠い」「西の食材が手に入りやすい」という選択が多いのは原発事故での避難者が多いから。

Q5 現在お住まいの住宅は？

【住宅支援を受けている方】

	回答数	%
県営住宅	3	5.0
市・町営住宅	4	6.7
雇用促進住宅	3	5.0
民間借り上げ住宅	5	8.3
その他	0	0.0

【住宅支援を受けていない方】

	回答数	%
県営住宅	0	0.0
市・町営住宅	1	1.7
雇用促進住宅	1	1.7
民間賃貸住宅	20	33.3
実家、親戚宅	6	10.0
持ち家	14	23.3
その他	1	1.7
無回答	2	3.3

(その他)・公団

福島からの自主避難者の住宅支援が3月31日で終了。住宅支援を受けている避難者が今後、大幅に減る。持ち家の世帯が少し増えている

Q6 お住まいでのお悩みはありますか？

- ・家族が増え、狭く感じるようになった。
- ・家賃支援を一方的に東電・国で決め切り上げることへの不満のみ。福島にいたのなら住宅への家賃はかからず暮らせていたのに、そんなことを言えば国は「戻ればいい」としか言わないわけで。ごまかしの除染しかしていない、いつどうなるかわからない原発が恐くて避難しているのにとうてい理解などしてもらえないことへのあきらめしかない。
- ・中心部より遠く、子供が大きくなってきたら、通学（高校以上）など選択肢が狭くなる&不便
- ・家を買ったのは失敗。
- ・家賃が生活費を圧迫している。
- ・子どもが大きくなり、部屋が手狭になった。広島に住宅購入するかどうか迷っている。
- ・とりあえず、で決めた家なので狭く、引っ越しを考えている。
- ・同居（よいこともあるが、しんどいこともある）
- ・狭い。狭すぎる。もっと広い所、安い所に引っ越したくても資金がない。
- ・原発事故以来、家賃はすべて自分で払っており、払ってもらったことがない。当初、実家に避難した+避難時期の関係でダメと言われた。

Q7 現在ある公的支援（住宅支援、高速代無料<福島県母子避難者向け>、避難元情報の送付等）で改善を望む点がありますか？

- ・公的支援は受けていません。
- ・関東圏からの避難者にも住宅支援がほしい。必要。
- ・高速代無料があっても、車では移動しないので、もう少し利用できる支援策を出してほしい。
- ・家賃の補助を継続してほしい。

- ・福島帰省の交通費がほしい。(家族と会う、家の管理 等)
- ・自主避難者への支援が少ないような気がする。
- ・国に望むことは放射能汚染されてもとには戻らない土地に住む人々を西日本に来てもらい、安全な食づくりをしてもらいたい(国は支援の方向が間違っている)
- ・一度の引っ越しで住宅支援終わるのは厳しい。引っ越ししてからの家賃も支援してほしい。
- ・もっと広く支援をしてほしい。

08 公的なもの、民間のものに関わらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・健康管理(無料の検査体制)／医療費の無料化(18歳までにかかわらず、当時東北・関東に住んでいた人を対象に)
- ・住宅支援(家賃、ローン)／空き家等を安い家賃で、保証人なしで借りれるといい。
- ・移住支援
- ・帰省の交通費の補助。
- ・空き家バンクの早期整備、農地のあっせん。
- ・障がい者がいる家庭に心温まる支援を！
- ・就業支援。
- ・自主的に避難してきた人に対する細かな思いやり、支援。
- ・保養支援

09 生活費を支えているものは何ですか？

(家族で避難されている世帯)

(複数回答あり)

	回答数
世帯主の収入	34
配偶者の収入	13
預貯金	13
年金	6
賠償金	0
精神的慰謝料	0
生活保護	1
失業給付	0
その他	1

(単身・母子等家族の一部で避難されている世帯)

(複数回答あり)

	回答数
ご本人の収入	9
家族からの仕送り	7
預貯金	3
年金	5
賠償金	1
精神的慰謝料	0
生活保護	1
失業給付	0
その他	0

Q10 生活費・収入は十分ですか？

	世帯数	%
十分	7	11.7
まあ満足	22	36.7
苦しい	28	46.7
無回答	3	5.0

約半数近くが「苦しい」。「まあ満足」でも「ギリギリだけど…」というコメントは多い。子どもの成長とともに教育費の負担が増え、今後への不安を持つ人も少なくない。

Q11 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・二重生活はお金がかかる。
- ・避難元にいれば、私には自宅サロンがあり、夫たちが立ち上げた介護事業所があり、ヘルパーとして再び復職していた。今の場所に来てからは5年間、特に夫が仕事を辞めてから3年間は非常に苦勞しています。
- ・子どもが私立高校へ通っている。私・夫ともに病気を抱えていて無理ができない。。原発事故後の避難、保養、移住等でかなりお金を使ってしまい、生活が苦しい。
- ・週1日ずつ夫婦で働いています。合わせて収入は6万円／月ぐらい。避難元にいた頃よりずいぶん稼いでいます。
- ・今、生活していく分は問題がないが、自主避難のため貯金をすべて使い果たして引っ越し（転職も）をしたことを今、少し後悔している。
- ・新たに家賃がかかるようになり、家計を切り詰めていかななくては。これから少しずつ大変になりそう。
- ・年金が少ない
- ・子どもが大きくなるたびにいろいろとお金はかかってくるので大変。
- ・メディア露出せずの開業。とにかく移住先での開業はタイヘン！！生活苦しい（笑）
- ・主人の転職で給料が下がった。
- ・子どもの学費が一番かかる時期と民間借り上げ住宅の支援の打ち切りがかかり、正直生活は楽ではない。
- ・現在、私は健康でなく、仕事に就くことができないので、両親の年金のみで3人生活しているが、これから先（もちろん現在も）少ない収入でのやりくりが心配です。

Q12 お仕事面での悩みはありますか？

- ・子どもが年々病弱になり、仕事に出ることができない。
- ・避難元での仕事が充実していたので、こちらでの仕事は生きがいとしてではなく、生活のためにやっている。
- ・現在パートだが、生活が苦しいため時間を増やさなければやっていけないが、これ以上働く自信がない（健康面での不安）。
- ・震災後、とりあえず転職をしたので、一生働ける会社を現在探し中。（転職活動中）
- ・農地の持ち主との交渉を直接しなければならず、調整が難しい場合がある。（行政や不動産屋が入ってくれたら…と思う）
- ・年齢も年齢なので、仕事を見つけるのも大変です。条件もわがまま言えないし。
- ・金銭面はちと苦しいが、内容的には自分たちのやりたいことを自分たちのペースでやりたいようにやらせていただいているので、悩みは特になし！開業から3年半、やっとやっと。本当にやっとです。

- ・順調です。
- ・仕事がない。
- ・健康であれば仕事につけるが、それが不可能なので、とても残念。

Q13 ご家族の中で健康に不安のある方はいらっしゃいますか？

	人数	%
はい	26	43.3
いいえ	26	43.3
無回答	8	13.3

Q14 今後のご予定は決まっていますか？

	世帯数	%
今住んでいる自治体へ定住	27	45.0
避難元ではないところへ移動	1	1.7
近いうちに避難元へ戻る	1	1.7
いずれ避難元へ戻る	1	1.7
決めていない	18	30.0
上記に当てはまらない	8	13.3
無回答	4	6.7

昨年より、「決めていない」が減り、「定住」が増えた。間もなく6年という年月、住宅支援終了などの影響かと思われる。

(今住んでいる自治体に定住する)

- ・家を購入した／家を建てた
- ・仕事の都合
- ・農業の土台ができ、継続できるので。
- ・不便でも金銭的余裕はない。
- ・親戚、家族がいるため。
- ・行くところもないし、引っ越しする余裕もない。
- ・今のところが好きだから。
- ・特に今住んでいる場所いい！と思っているわけではないが、これと言って不便もないため。
- ・原発避難者に理解のある土地柄なので、子供たちもこちらの生活に慣れてくれたので。
- ・生まれ育った地域で恩返しできればと考えている。

(避難元でないところへ移動する)

- ・娘家族の仕事次第

(近いうちに戻る)

- ・6年が過ぎ住宅支援も終了し、潮時と思った。

(いずれ避難元に帰る)

- ・夫の両親の高齢化

(決めていない)

- ・福島に残っている親の状況によってどうなるか予想が立てられないでいる。
- ・夫は戻りたい、私は避難先に定住したい。
- ・子どもの進学等で移動の可能性。主人がいつまで別居を許してくれるかわからない。
- ・先が見えないから。
- ・広島に就職し、自宅も持ったが、福島には親・兄弟がおり、愛着がある。子供も戻りたがっている。
- ・仕事の先の方向性が決まってない。
- ・その時、最適な場所で と思っています。
- ・避難元には戻りたいと思うが、今は無理。
- ・病気の関係で、この土地から移動できないため。
- ・当面留まるが、定住かと言われると、そこまでは言い切れない。

(上記に当てはまらない)

- ・夫婦それぞれの仕事の場所が現在と変わるかもしれません。
- ・転勤族のため不明です。
- ・1年間は学校があるのでここにいるが、その先未定。
- ・原発の状態も良くなり、さらなる災害の可能性もあるため、流動的に対応しなければならない。今、定住を決めるのは時期尚早。
- ・仕事があるところに行く。(西日本)

Q15 今、大変なこと、つらいことは何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
仕事が見つからない	3	5.0
仕事にやりがいを感じない	1	1.7
生活費が足りない	16	26.7
支援が縮小していくこと	8	13.3
避難指示が解除されたこと	3	5.0
避難指示が解除されそうなこと	2	3.3
体調不良	12	20.0
忙しすぎる・自分の時間がないこと	10	16.7
親の介護	5	8.3
育児	5	8.3
子どもの教育・進路	14	23.3
家族バラバラに暮らしていること	5	8.3
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	19	31.7
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	16	26.7
家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)	4	6.7
家族間の意見の不一致(自分と親)	4	6.7
家族間の意見の不一致(自分と子ども)	1	1.7
避難元が復興しないこと	1	1.7
避難元の復興が望む形と違うこと	10	16.7
避難元に帰れないこと	5	8.3
今住む地域に親しい友人がいないこと	8	13.3
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	16	26.7
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じる	21	35.0
原発が再稼働されたこと	17	28.3
避難先の人たちと意識の差を感じる	16	26.7
特にない	4	6.7
その他	8	13.3

- ・ 国、政府、東電の対応には多くの疑問を感じる。
- ・ 避難元へ帰る気になれず、離婚し、子どもとこの土地で生きることを決めました。
- ・ 親や親戚からの理解がない。
- ・ 妻が働きに出たいが、子どもが病気をすることもあり、病時にあずかり先がないため、なかなか職が見つかりにくい。子どもがいて、急な休みを取ることに理解のある会社に出会えない。
- ・ 原発事故であれだけの被害を出していながら、原発再稼働が…。日本、そして未来の子どもたちのことを考えると絶望感でいっぱいである。
- ・ 子どもの健康を考えたら、避難元へ帰りたくても帰れない。
- ・ 東京の汚染は理解されないこと

- ・行政は避難者の健康を感じていない。かつてに戻れというだけ。
- ・避難できない人たち（特に子ども）に対して何もできないこと。
- ・単身での避難のため、孤立しているように感じるが多い。

「震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じること」が一番多い。世間での関心は下がっても、被災者・避難者にとってはまだ渦中のことなので、自分の気持ちとのギャップを感じていると思われる。

Q16 今後、どんなことに不安がありますか？

(複数回答あり)

	回答数	%
避難先の生活が安定するか	13	21.7
自分の健康が保てるか	33	55.0
家族の健康が保てるか	29	48.3
避難し続けられるか	9	15.0
公的支援がいつまで続くか	6	10.0
避難指示が解除されること	2	0.0
子どもをしっかりと育てられるか	11	18.3
子どもの教育・進路	18	30.0
家族と一緒に暮らせるか	7	11.7
夫婦の関係が悪化しないか	6	10.0
避難元の親・親族との関係、付き合い	16	26.7
避難元へ帰れるか	2	3.3
避難元へ帰らなければいけないこと	2	3.3
避難元へ帰った時に孤立しないか	0	0.0
避難元にいる親の老後・介護	20	33.3
特にない	4	6.7
その他	7	11.7

- ・避難先の母や祖母など、年々年を取り、将来は私が見ることになるのかと考える。
- ・原発政策に限らず今の政策に国民を守ろうという気持ちが感じられず、一体これからどうなるやらという不安がある
- ・広島に来て、夫婦間が悪くなり離婚したので、子供の精神面など不安。
- ・普通レベルの生活に戻れるか。
- ・縁もゆかりもない土地に来たので、年をとってからのことなど、先のことなのだけどどうなるかなと考えると心配です。
- ・今後、放射能がどう体などに影響してくるのか。

大きな傾向は変わらない。健康、親の老後、子育てが高い。

Q17 震災から間もなく6年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数回答あり)

	回答数	%
気持ちが穏やかになってきた	12	20.0
あきらめのような気持ちが強くなった	22	36.7
生活が安定してきた	15	25.0
楽しいことをしようという気持ちになってきた	20	33.3
無気力になってきた	3	5.0
前向きな気持ちになってきた	12	20.0
将来への不安が強くなった	12	20.0
広島に定住する気持ちが固まった	12	20.0
避難元へ帰りたい気持ちが強くなった	6	10.0
怒りが強くなった	4	6.7
変化はない	7	11.7
その他	7	11.7

(その他)

- ・あまりにも事故の規模が大きく、あきらめの気持ちも多少ある。
- ・子どもの健康を考え、今は家族離れているが、いずれ一緒に住めるよう前向きになった。
- ・ずっと楽しくやっています。
- ・避難してきたことを少し後悔するようになった。震災前の生活に戻りたい気持ちが強くなってきた。
- ・今のところに住む覚悟は変わらないが、いかんせん不便な場所なので、お金さえあればもう少し中心部に近い便利な場所に住みたいと思う。
- ・日々忙しいので考える暇がないです。変化などないくらい日々いっぱいいっぱい。
- ・日々の暮らしを落ち着いたものにしようという気持ちが強くなりました。
- ・自分たちが望んで移住したので帰りたいという気持ちはないが、生まれ育った町が恋しいとか、今の暮らしになじみ切れないという気持ちはあります。それは移住してきた当初より、数年がたった今の方が強く感じます。

「あきらめ」と「日々を楽しむ」の両方を選ぶ人も多い。「避難元へ帰りたい気持ちが強くなった」がこれまでより高い。でも、「帰りたいけど、帰れない」という心境でいる印象。

Q18 自分を「避難者である」と言うことに抵抗はありますか？

	回答数	%
とても抵抗がある	5	8.3
少し抵抗がある	18	30.0
あまり抵抗はない	18	30.0
全く抵抗はない	18	30.0
無回答	1	1.7

(とても抵抗がある)

- ・ニュースにもなっているイジメ問題があり、当事者になるかもという不安から。
- ・(関東ということもあり) 理解を得られないことがほとんど。

(少し抵抗がある)

- ・他県でのいじめのニュースを見ると、あまり言いたくはない。
- ・聞き手の事情や受け止め方がいろいろなので。
- ・最初はそれほどなかったが、当然ながら人によって受け方が違い、それから躊躇するようになった。
- ・もう避難者という気持ちではないからかな？
- ・自分の住んでいた場所はそこまで大きな被害があったように思われない土地のため、「避難の必要があったのか？」と問われた場合、何と答えればよいのか考えてしまう。
- ・6年も住んでいるのに「避難者」でいることの違和感が少しある。でも、「避難者」がいなくなってしまったように見えると、何事もなかったことになってしまいそうで「また、原発事故が起きてもなんとかなるよ」ということになってしまいそうで「避難者」でいようとも思う。
- ・関東からの避難なので、理解してもらうのが大変。なんとなくうやむやにしている。

(あまり抵抗はない)

- ・広島の人みんな受け入れてくれている。避難者と伝えても特に抵抗はなかった。
- ・原発事故のことを口にする人がいなくなると困るなと思い、機会があれば言います。
- ・東京でも放射能の影響はあるのだから、避難したという事実の通りだから。

(全く抵抗はない)

- ・事実でそれは変わらないからです。今でも原発事故とその影響は続いていることを知ってほしいからです。
- ・あきらめているので。
- ・原発の危険性を訴えたい。
- ・自分が移住したことは間違いじゃないと思っているし、その後の人間関係も楽だから。

Q19 今、楽しいこと、楽しみにしていることはありますか？

	回答数	%
はい	39	65.0
いいえ	7	11.7
無回答	14	23.3

地域での活動／仕事／野菜作り／新しい生活が始まるので、生活を安定させることを楽しみにしている
／アスチカの交流会／子どもの成長／健康維持のためのスポーツ／自分の勉強（ヨガ）／ライブ活動
／八丁堀に行くこと／たまに行く旅行／東北の友達が年何人か遊びに来てくれること／一人の時間を作ってゆっくりすること／時間もお金も余裕があれば趣味をやりたい気持ちが出てきた（実際はまだですが、気持ちだけは変化した）／体のためになるような講座への参加（デトックスランチや万能酵母液、手作りシャンプーなどなど）／学校／いい音楽聴く！／おいしいもの食べる！／家族とのいつもの時間／自治会の食事

会／山歩き／カープ／子どもたちが進学して、新しい生活と環境でよい人間関係を築いていこうとしていること／サンフレ／子どもの出場する試合の応援／近所に駅ができて、気軽に出かけられそうなこと。
 ・地域のまちづくりへの貢献／ヨガ、茶道

Q20 これまで、アスチカの交流カフェに参加したことはありますか？

	回答数	%
参加したことある	47	78.3
参加していない	13	21.7

→① ② ③

→④

① また参加したいと思いますか？(47名)

	回答数	%
はい	39	83.0
いいえ	7	14.9
無回答	1	2.1

② また参加したい理？(39名)

(複数回答あり)

	回答数	%
情報交換	26	66.7
他の避難者のとの交流	27	69.2
託児がある	5	10.8
外出の機会	6	15.4
リフレッシュ	13	33.3
その他	4	10.3

(②その他)

- ・避難ということを共有できると思うので。
- ・心の安定
- ・友人を作りたい。
- ・甲状腺のモニター検査

③もう参加したくない理由(7名)

(複数回答あり)

	回答数	%
楽しなかった	0	0.0
今は必要を感じない	5	62.5
求めているものと違った	0	0.0
その他	5	62.5

(③その他)

- ・老人のため、移動困難。
- ・時間がない気持ちが落ち着いてきたから、今の生活で手一杯。

④これまで参加しなかった理由(13名)

(複数回答あり)

	回答数	%
避難元・状況が違う人との交流は不安	0	0.0
日程が合わない	1	7.7
余裕がない	4	30.8
会場が遠い	4	30.8
交通手段がない	4	30.8
特に行く必要がない	1	7.7
家族で過ごす時間を優先	2	15.4
震災のことを思い出したくない	1	7.7
自分のことを話したくない	2	15.4
その他	3	23.1

(その他)

・車を持っていないのと仕事を休めないのでは都合がつかないです。

・自主避難の母子家庭が多いのではと思います。

Q21 今後どのような情報の充実を望みますか？

どんな情報の充実を望むか？(複数回答あり)

	回答数	%
定住のための情報	13	21.7
住宅	9	
雇用	3	
教育	1	
その他	0	
避難元の情報	6	10.0
復興状況	2	
住居	0	
雇用	0	
教育	0	
その他	0	
原発事故にかかわる訴訟の情報	17	28.3
住んでいる地域の情報	24	40.0
その他	1	1.7

- ・福島県などの関係者がいらしたとき話されている情報などの報告のようなものが（簡単でよいので）、あればうれしいです。公開してもよいようなもの。生の声があればありがたい。
- ・避難者の立場から次代の子どもたちに負の財産を負わせることへの責任を自覚し、安心して生きられる社会を引き継ぐための意識を持てるような情報発信も必要に思えますが。
- ・食の安全
- ・いまのままで十分です。ありがとうございます。

Q22 アスチカに求めているもの、会員でいることの理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
他の避難者と知り合うため	19	31.7
避難者同士のつながり(交流会などには出ずとも)	36	60.0
アスチカニュースなどが届くこと	31	51.7
ご招待、支援物資などの情報獲得	14	23.3
公的支援の情報獲得	16	26.7
さまざまな催しの情報獲得	20	33.3
避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする)	6	10.0
困った時の相談場所として	22	36.7
精神的支え	15	25.0
避難者同士の情報交換のため	18	30.0
その他	3	5.0

(その他)

- ・現在、ほとんどアスチカさんとの関係は薄くなっている現状なのに、なぜ会員となっているのか、脱退しないのか、あらためて考えてみました。やはり、不安を感じるからだと再認識しました。やっぱりアスチカさんは心の支え？なのかもしれません ^^
- ・広島での甲状腺検査の案内をしてもらえるから。
- ・同じ東北の出身の方が多いので安心する。西日本の様々な違いに戸惑うことが多くても、それを共感してくれる人たちがいることの心強さがある。

避難元別アンケート

【岩手県・宮城県から避難している方】(6名)

問a 避難者であることで嫌な思いをされましたか？

	回答数
はい	1
いいえ	2
無回答	3

【福島県から避難している方】(28名)

問b 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめを受けたことはありますか？

	回答数	%
はい	0	0
いいえ	18	64.3
無回答	10	35.7

△・いわきより、いわきナンバーの車で移動したので、複数の方に放射能に汚染された車では…とのことを言われました。

問c 福島県から、自主避難者への住宅支援が平成29年3月で終了するという発表がされました。

① あなたの世帯は打ち切りの対象世帯ですか？ ②(①が「はい」の方)支援終了後の予定をお教えてください。

	回答数	%
はい	9	32.1
いいえ	3	10.7
分からない	0	0.0
支援を受けていない	11	39.3
無回答	5	17.9

	回答数
避難先に住み続ける	8
広島県以外で避難継続・移住	0
福島県へ帰る	1

【関東圏から避難している方】(26名)

問d 避難者であると周りの方に伝えてありますか？

	回答数	%
常に伝えている	8	30.8
一部の人にだけ伝えている	7	26.9
以前は伝えていたが、今は伝えていない	7	26.9
以前は伝えていなかったが、今は伝えている	0	0
以前も今も伝えていない	1	3.8
無回答	3	11.5

問e 避難者であると伝えたことで嫌な思いをされましたか？

	回答数	%
はい	10	38.5
いいえ	10	38.5
その他	1	3.8
無回答	5	19.2

(はい)

- ・理解はされない。自分勝手な人とイメージされる。
- ・話をどう受け止めたらいいいのか戸惑っている様子で「わからないから」と言われた。
- ・全くりかいがなく、微妙な空気が流れる。
- ・「どうして東京から？」(10人中10人がこの反応)

(その他)

- ・否定的なことを言われることはないが、理解されてないんだろうという感じが伝わってくる。壁を感じる。

問f 今、望むことは何ですか？

(複数回答あり)

	世帯数	%
関東圏からの避難への理解	12	46.2
支援範囲の拡大	8	30.8
住宅確保サポート	6	23.1
就職サポート	4	15.4
関東圏から避難している人との交流	7	26.9
その他	2	7.69

(その他)

- ・関東圏からの避難への理解、住宅確保サポートを望むが、あまり期待できない
- ・エコー健診ができること